

TopSecret -> RACF マイグレーション



イーजीータルサポート合同会社

はじめに



EasyTotalSupport

CA-TOPSECRETおよびCA-ACF2からRACFへのマイグレーションサービスについてご紹介します。

RACFへのマイグレーションは、KEY Resources社のツールを導入し、自動化されて変換し、サポートできない部分は手動により行います。定義内容の変換方法や手順については、KEY Resources社のコンサルティングを受けて移行を実施いたします。

各USERがお持ちのパスワードについてもツールを導入して抽出、移行を行います。

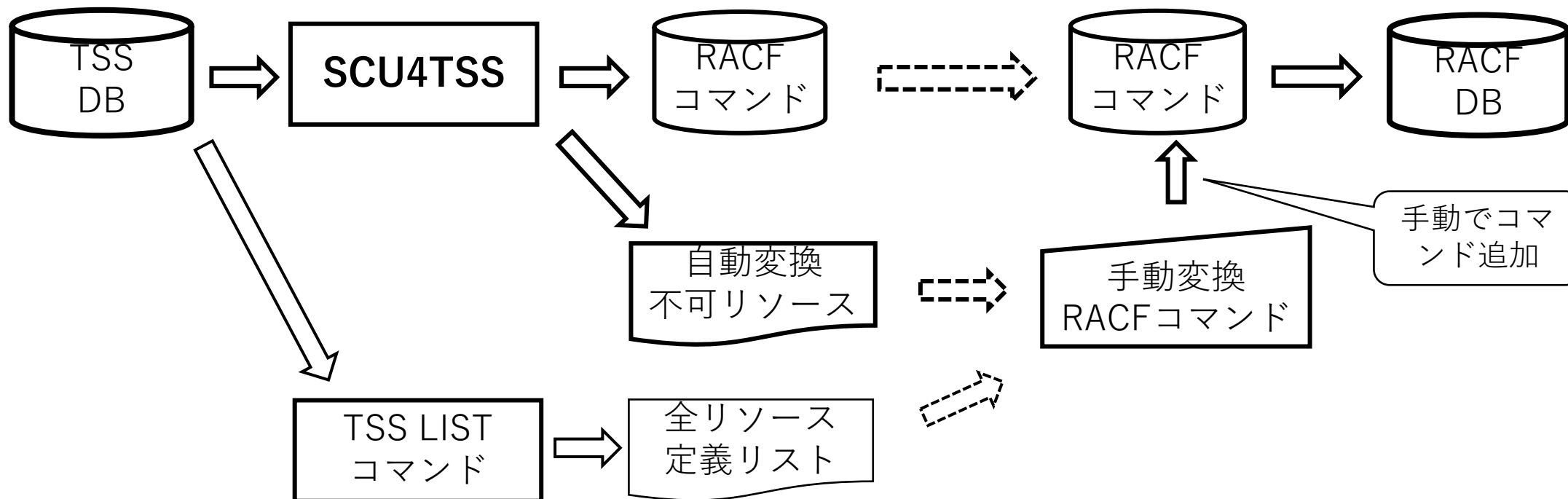
まずは、システム環境を確認してからの作業量のお見積もりをご検討いただけますようお願いいたします。

TSS-RACF移行プロジェクト

1. プロジェクト開始（スケジュール、人員、コスト、技術的検討、等々）
2. 技術的検討（TSSとRACFの機能調査、比較、リソース保護の相違）
3. 移行方法の検討（本番とテストz/OSの環境）
4. テスト環境構築 z/OSとRACF導入（RACF DB構築環境、テスト環境）
5. コンバージョンプログラム導入
6. コンバージョンプログラムでTSS Databaseデータ処理
7. 自動変換と手動変換の明確化と変換方法決定
8. ドライラン（模擬テスト）
9. 本番移行
10. フォローアップ

TSS DB変換ユーティリティ

- SCUプログラム（KRI社製）をTSS環境のz/OSへ導入



- TSSシステムオプション変換
 - 自動的に移行可能オプション
 - 手動で移行オプション（RACFで代替えオプションを使用）
 - 使用中止オプション（RACFに対応しないオプション）
- TSS保護リソース変換
 - 自動的に変換可能リソース
 - 自動的に変換後に追加・変更定義が必要なリソース
 - 手動変換リソース
- 監査レポート機能

TSSからRACFへ変換

TSS	自動変換	RACF
TSSオプション	△	RACFオプション
GROUPS	○	GROUPS
DATASETプロファイル	△	DATASETプロファイル
Generalリソース	△	Generalリソース
UserID/Password	○	UserID/Password
監査機能	X	監査機能

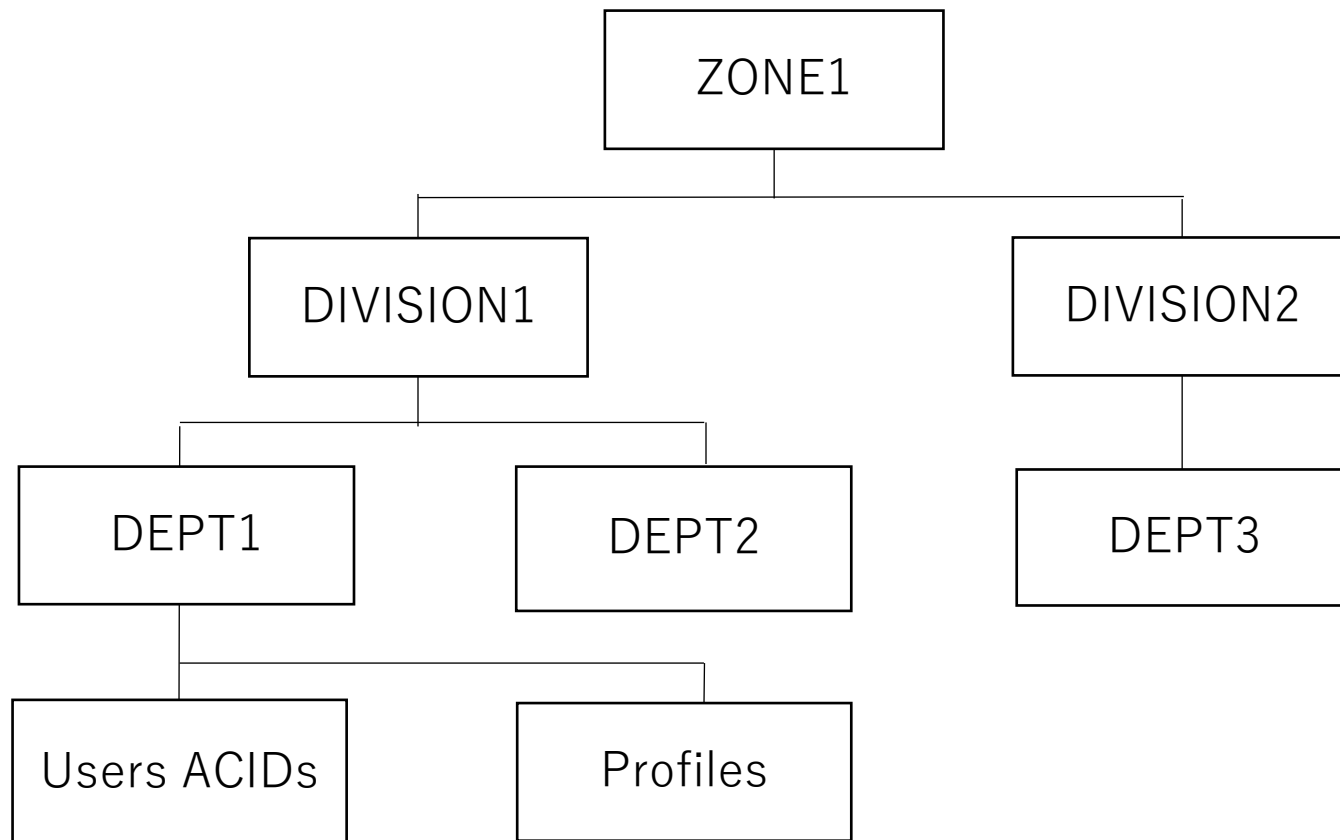
RACFシステム環境

RACF Database Build Environment

- TSSから変換されたRACFコマンドを実行してRACF Databaseを構築
- この環境でのテストは限定的
- PARMLIBのパラメータセットを使い分け次の環境でIPL
 - オリジナルTSS環境
 - RACF環境で空のRACF Database
 - RACF環境で変換済のRACF Database
- 変換済のRACF DatabaseとターゲットシステムのRACF Database間のコピー手順を用意
- 初期化後のRACF Database環境ではTCP/IPとサブシステム機能は限定的
 - NON-SNA端末を用意

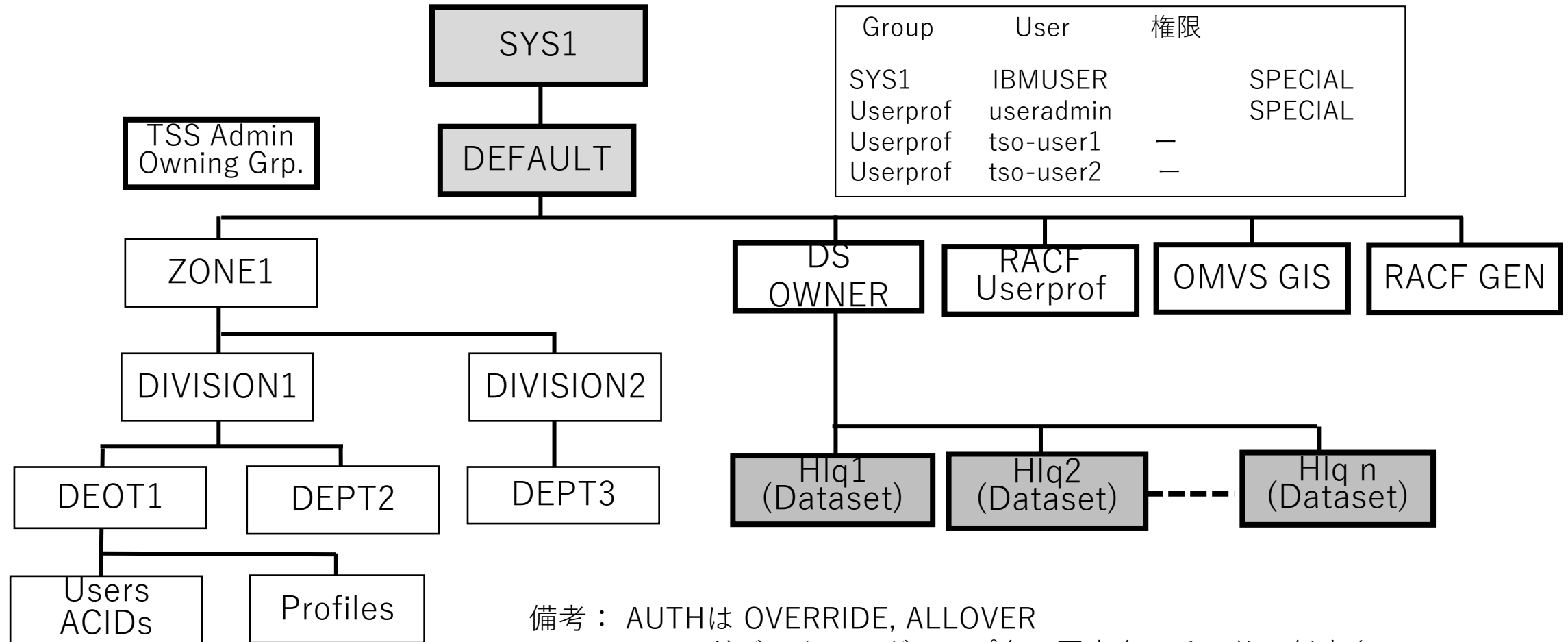
RACF Integration Test Environment

TSS ACIDs階層構造



MSCA: Master Sec. Control ACID
VGA: Division Control ACID
DCA: Department Control ACID
SCA: Central Security Control ACID
LSCA: Limited Control Security Control ACID

RACFグループ階層構造



備考： AUTHは OVERRIDE, ALLOVER
シェードボックスのグループ名は固定名、その他は任意名

オプション : TSSパスワード移行

